

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
保健体育	スポーツ専門①	2年男女	2	選択

到達目標	必修体育で実施している教材をより細部にわたり分析・考察し、技術・記録の向上を目指す。 さらに、幅を広げた種目を実施することにより自己の身体能力の向上を目指す。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	1. 陸上競技 短距離走、障害走	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理に留意すること。 苦手競技・苦手種目に対しても積極的に取り組む姿勢を作ること。 常に向上心をもって一年間の授業に臨むこと。 他との協力、助け合いの心を持ち続けること。 	この講座は男女それぞれ40名を上限とします。
1学期期末	1. 陸上競技 走り幅跳び、走り高跳び、投擲 2. 水泳 四泳法		
2学期中間	1. 水泳 四泳法 2. 器械体操 マット運動、鉄棒、跳び箱		
2学期期末	1. 球技① 2. 球技②		
学年末	1. 球技③ 2. 持久走		

評価方法と評価のポイント	実技テストによる運動能力を評価する。さらに、授業への参加状況、態度などを加えて総合的に評価する。遅刻、欠席のないよう自己の健康管理に留意する。
---------------------	---

教科からのアドバイス

常に向上心を持って参加することを求めています。他の生徒の動きを観察してお互いに長所や短所を指摘しあって、記録の向上を目指そう。チームメイトとの会話をはかり、チームの勝利につなげられるよう協力し、また個人の技能の違いを理解し適応する姿勢で授業にのぞもう。